

(参考様式4)

### 事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	吉佐美地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
静岡県・下田市	220001・222194	1	H22～H24	H22～H23
活性化計画の区域				
静岡県下田市吉佐美地区				

#### 1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B / A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	8.30ha	8.30ha	100%	

(コメント)

計画作成時における目標値を100%達成できた。

#### 2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
(吉佐美地区) 農業用排水施設 整備	頭首工 1箇所 用水路 L=40.0m			下田市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
吉佐美・大賀茂部 農会	平成22年度	平成23年度	平成24年 3月29日	
事業の効果				
取水堰及び農業用水路が更新されたことで、農業用排水の機能確保が図られ、農業者の作業負担の軽減などが図られたことで、安定的な営農を確保することができた。				

#### 3 総合評価

(コメント)

農業用排水施設整備により、既存の農業用水の安定的な機能が確保され、また、農業者の維持管理労力の軽減が図られたことで、地域農業が活性化し、人口減少の抑制につながったと判断できる。

#### 4 第三者の意見

(コメント)

農業従事者の高齢化や後継の担い手不足が進む中、農業用施設の基盤整備による維持管理労力の軽減により安定的な営農を確保することは、地域農業を持続させるためには欠かせない。当該事業は上記の課題の解決に一定の効果があったと認められるため、評価内容は妥当である。(下田市農業委員会 会長)

当該基盤整備事業により農業用排水施設が整備されたことで、地区内の用水の安定的な機能が確保され、農業者の農作業負担の軽減など営農環境の向上が図られた。農業生産性の向上のみならず、農業の活性化が地域の活性化にも寄与していると認められるため、評価内容は妥当である。(伊豆太陽農協朝日支店 支店長)

【記入要領】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。